



# 桂川電機株式会社

(登録銘柄コード番号 6416)

## 会社説明資料

平成21年3月期



KIP3100



KIP Color 80



KIP 9000

- ..世界初、36" (914 mm) 幅対応の普通紙 LED フルカラープリンタ
- 印字速度：80 mm/秒、A0 3枚/分：600dpi
- 給紙：4ロール自動給紙+手差し給紙
- ・4カラータンデムエンジン（1パスフルカラー）
- ・普通紙、トレーシングペーパー、フィルム、光沢紙印字対応
- ・少量多品種のフルカラープリントが高速に行えます
- ・トナー方式を採用して、低ランニングコストを実現

## 当資料をご覧いただくにあたって

注1) 当資料は、会社説明を目的としてのみ作成されたもので、証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、当社が発行する有価証券報告書等の財務資料をご覧いただいたうえで、投資家ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

注2) 本資料に掲載されている内容は、本資料作成日時点において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に関わる仮定を前提としており、将来の業績等は当社を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動など、様々な要因によって異なる結果と成り得るものでありますことをご承知おき下さい。

## 本説明資料の構成

この資料は次の事項により構成されています。

- 1 . 平成 1 7 年 3 月期 ~ 平成 2 1 年 3 月期の業績経緯
- 2 . 平成 2 1 年 3 月期の連結業績の概要
- 3 . 会社概要

# 1. 過去業績データ（平成17年3月期～平成21年3月期）

平成17年3月期～平成21年3月期の当社業績の経緯は次のとおりです。

## 連 結

(単位:百万円)

項 目	期・年度	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
		平成16年4月～平成17年3月	平成17年4月～平成18年3月	平成18年4月～平成19年3月	平成19年4月～平成20年3月	平成20年4月～平成21年3月
売上高		14,678	16,380	20,849	20,930	15,860
営業利益		1,406	1,722	2,620	2,635	1,183
経常利益		1,649	2,039	3,001	2,428	1,094
当期純利益		930	1,193	1,625	1,243	146
総資産		20,195	22,024	24,328	23,836	21,627
純資産		15,793	17,180	18,682	19,446	17,919

## 単 体

(単位:百万円)

項 目	期・年度	平成17年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	平成20年3月期	平成21年3月期
		平成16年4月～平成17年3月	平成17年4月～平成18年3月	平成18年4月～平成19年3月	平成19年4月～平成20年3月	平成20年4月～平成21年3月
売上高		10,404	10,745	13,967	13,224	9,834
営業利益		848	824	1,483	720	-530
経常利益		1,064	1,077	1,708	380	-442
当期純利益		483	516	804	184	-774
総資産		18,119	19,511	20,134	19,498	16,784
純資産		14,955	15,342	15,928	15,825	14,757

## 2. 平成21年3月期の連結業績の概要

当社グループが関連する事務機器業界におきまして、大判型プリンタは経済全般の減速で、国内外の需要が低調に推移して、競業企業間で販売競争の激化を招き、モノクロ機では利益の確保が難しい状況になってきております。

このような状況下で、当連結会計年度の当社グループは、ドイツのソフトウェア開発会社を買収して、市場に安定したソフトウェア商品を供給できる体制を確立致しました。また、ドイツにおいて100%の子会社を設立し、ドイツ市場に本格的に参入し、更なるKIPブランドの浸透に努めて、直販体制の強化を図ってまいりました。

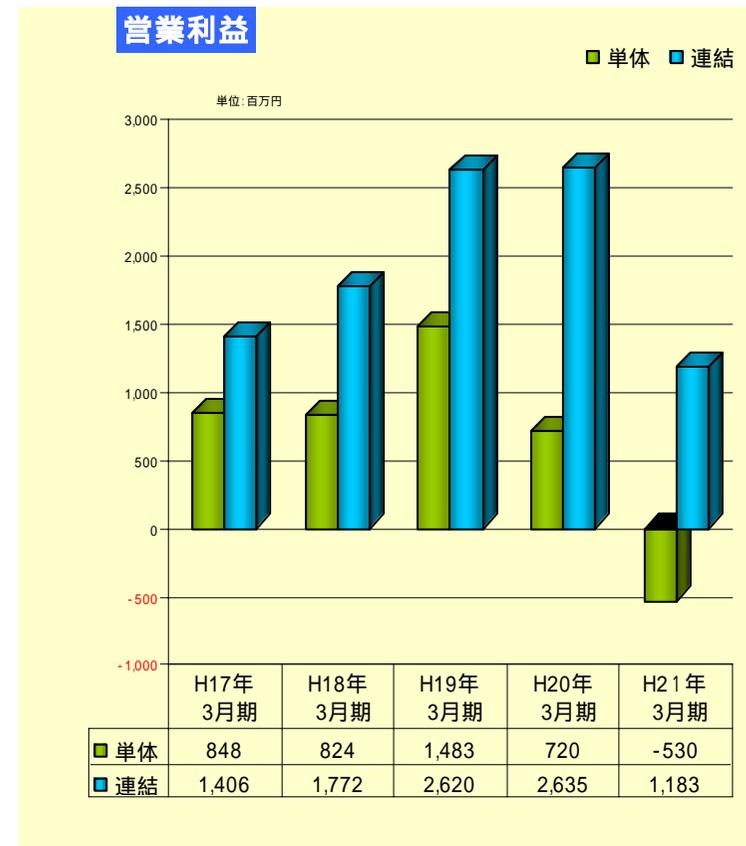
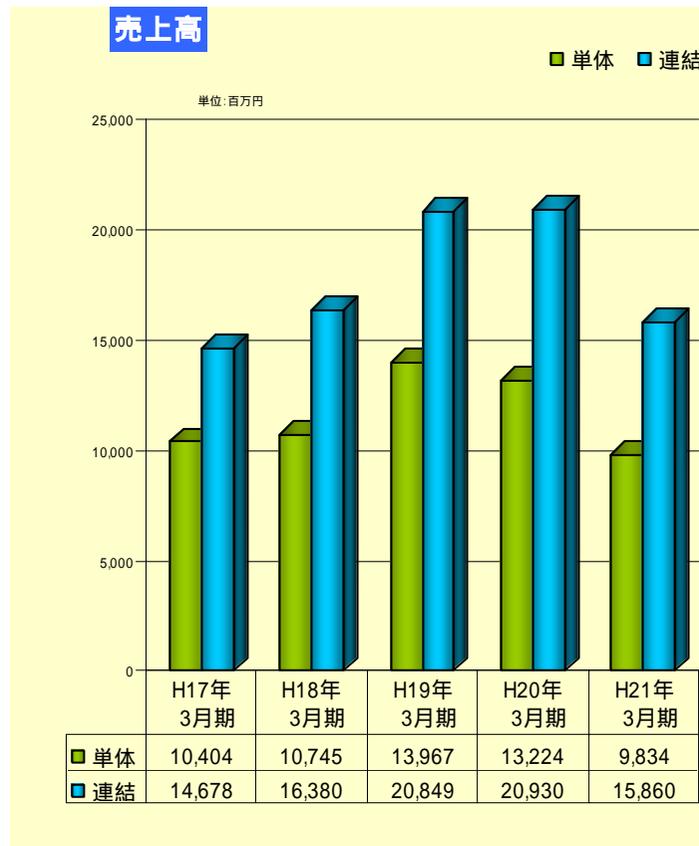
また、本年度から本格的に販売を開始した、大判型フルカラープリンタKC80は、高速カラープリントが可能で、大判インクジェットプリンタと比べてランニングコストも安く、少量多品種のプリントに最適な商品として、欧州を始め、世界各国の新しいマーケットに参入して、堅調に売上を伸ばすことができました。

しかし、モノクロプリンタは世界同時不況の影響をまともに受けて、設備投資が抑制されて、需要が低迷し、在庫調整を余儀なくされました。このため、当社の主力取引先であります米国への輸出が大幅に減少して、当連結会計年度の売上高は158億60百万円で前連結会計年度に比して24.2%の減収となりました。

また、利益面では企業間のシェア競争が激しく販売価格の低下と急激な減産による売上の減少、更には為替相場のドル安・円高の影響を受けたことなどから、当連結会計年度の営業利益は11億83百万円で前連結会計年度に比して55.1%の減益となりました。当期純利益は1億46百万円で、前連結会計年度に比して88.2%の大幅な減益となりました。

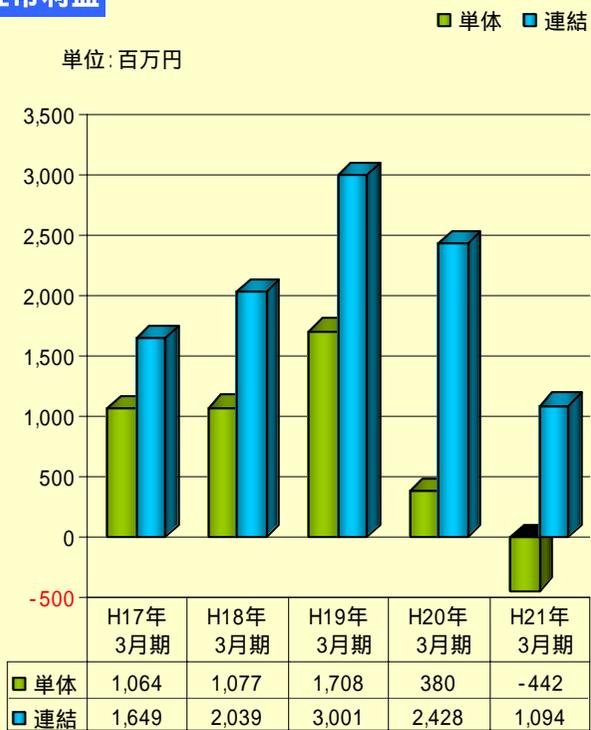
今後、当社グループとしましては、カラープリンタの開発に重点をおいて、新市場、新用途への展開を図り、売上の拡大に努めてまいります。

## 業績推移(単体/連結)

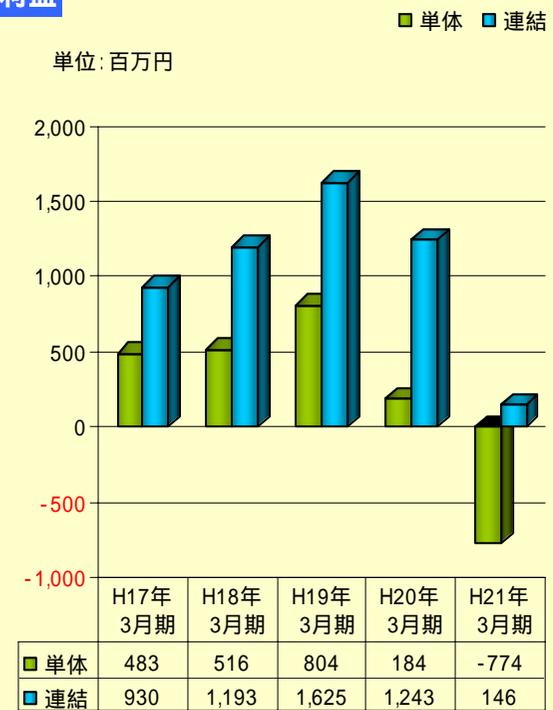


## 業績推移(単体/連結)

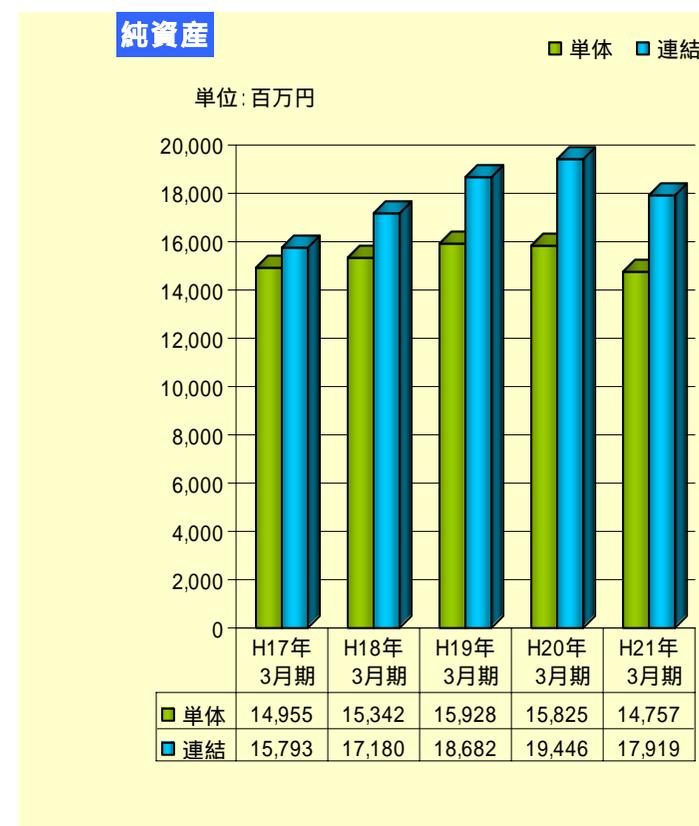
### 経常利益



### 純利益



## 財政状態推移(単体/連結)



### 3. 会 社 概 要

社 名 桂川電機株式会社  
本 社 東京都大田区矢口1-5-1  
実質本社 東京都大田区下丸子4-21-1  
代表取締役社長 渡 邊 正 禮  
会社設立 1954年2月  
JASDAQ 1991年9月  
資本金 4,651百万円  
社員数 単体244名 連結548名

#### 関連会社

株式会社ケイアイピー  
KIP America, Inc.  
KIP Europe S.A.  
KIP UK Ltd.  
KIP (Hong Kong) Ltd.  
KIP Business Solution Korea Ltd.  
桂新電機株式会社  
台湾三桂股份有限公司  
株式会社三桂製作所

1991年 JASDAQ に店頭公開

1996年 品質マネジメントシステム ISO 9002 認定取得

2003年 品質マネジメントシステム ISO 9001・2000 認定取得

2004年 環境マネジメントシステム ISO14001 認定取得



## 会 社 理 念

自然を大切にした製品づくり、そして自然と共に生きること。

それが、私たち桂川電機の創業から現在へと続く理念です。



デジタル機器、複写機、マイクロモーター。

現在、当社の3つの主要事業分野は常に時代の先端から生まれました。先端技術を駆使することを余儀なく求められるこれら技術を開発するにあたり、その根底には自然との共生理念が脈々と受け継がれてきました。

ご高覧ありがとうございました。

今後の当社グループを取り巻く経済環境は、世界的な景気後退という極めて厳しい経済環境になってきております。当社グループが関連する事務機器業界におきましても、設備投資の抑制から買い控えが進み、企業間競争はますます激しさを増し、より一層低価格化が進み、厳しい状況で推移するものと予想されます。当社グループは、この急激な環境変化に対応して、開発期間の短縮化を推し進め、さらに生産体制の強化を図って競争力のある高品質な商品を提供して、多様化する顧客のニーズに応えてまいります。